

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(令和元年6月分)

令和元年7月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

(2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

イ. スルプスカ共和国(RS)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

(2) 二国間関係

3. 経済

(1) 経済政策・公共事業

(2) 経済協力

(3) 民間セクター

(注: 以下は、当地紙報道等の公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●イゼトベゴビッチSDA党首、新大臣によるNATO・MAPの年次国家計画提出の可能性に言及(7日)

イゼトベゴビッチSDA党首(ボシュニャク系)は、NATOの加盟行動計画(MAP)に対する現BH閣僚評議会の承認が得られない場合、新BH閣僚評議会でボシュニャク系が担う外相ないしは国防相が、同評議会の承認を経ずにMAPの年次国家計画(ANP)をNATOに提出する可能性に言及。これに対してドディックSNSD党首(BH大統領評議会議長、セルビア系)は、閣僚評議会の合意なしにANPが提出されれば、BHは消えて無くなるだろうと述べ、イゼトベゴビッチ党首を牽制した。

●BH大統領評議会、移民・難民問題への対

策で合意形成できず(11日)

BHに流入する移民・難民の増加及び移民・難民間で発生するトラブルへの対応をめぐり、BH大統領評議会が緊急会合を開催したものの、具体的な対応策で合意できず。同問題をめぐっては、BH閣僚評議会が10日に承認したデータによれば、本年6月末までにBHに流入した移民・難民の数は9,081人に上る。

●ドディックSNSD党首が再選(14日)

SNSD党首選挙において、ドディック現党首(BH大統領評議会議長、セルビア系)が再選。ドディック党首は、1996年のSNSD創設時から同党党首を務めている。

●SDPと我々の党がBHブロック創設の協定を締結(20日)

サラエボを拠点とする多民族政党(ボシュニャク系中心)であるSDPと我々の党(NS)は、中道左派政党の協力枠組みとして、BHブロック結成の協定を締結。両党は、他党及びNGO等との協力も視野に入れ、BHブロックを拡大する方針。なお、同協定の締結に際してニクシッチSDP党首は、来年秋に予定されている統一地方選挙においてSDPとNSが候補者調整を行う旨述べた。

●クリシュトBH議会下院議長、BH連邦憲法一部条項の違憲申し立てを取り下げ(25日)

チョービッチHDZ党首(クロアチア系)はモスタルで開催されたHDZ執行部の会合後、記者団に対し、同党所属のクリシュトBH議会下院議長が、BH連邦議会上院議員の選出に関するBH連邦憲法条項(3構成民族(ボシュニャク系、セルビア系、クロアチア系)から最低一人をカントン毎に選出することを規定)について、2018年にBH憲法裁判所へ提出した違憲申し立てを取り下げた旨明らかにした。

●テゲルティヤHJPC長官の汚職疑惑(3、10、19、26日)

BH高等司法検察評議会(HJPC)の懲罰委員会は、汚職疑惑をめぐり同委員会に提出されていたテゲルティヤHJPC長官に対する懲罰動議に関して、3日の第一審及び10日の第二審ともに棄却を決定。またBH検察庁は、19日、本件疑惑をめぐるテゲルティヤ長官に対する捜査は行わない方針を決定。一方でBH議会下院は、26日の会合で、HJPC全委員の辞任要求を決議した。

●新中道左派SPD運動が発足(29日)

ラグムジャ前SDP党首(前外相)やイボ・コ

ムシッチ前サラエボ市長らを始めとして、SDP旧メンバーらが参加する「社会正義と民主主義のための運動」(SPD運動)の発足会合が開催。イボ・コムシッチ同運動執行部長は、同運動の目的は民族主義政党に対抗する中道左派の政治的プラットフォームの形成である旨表明。また同会合にはジェリコ・コムシッチDF党首(BH大統領評議会メンバー、クロアチア系)も出席し、中道左派の結束を呼びかけた。

●シャロビッチBH対外貿易・経済関係相がSDS党首に当選(30日)

SDS党首選挙が実施され、シャロビッチBH対外貿易・経済関係相が、ミリチェビッチ同党執行部長(テスリッチ市長)を僅差で破り当選。

(2)エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●BH連邦政府、移民・難民問題対策でウナ・サナ・カントンに追加的な予算配分(20日)

BH連邦政府は、BHに流入する移民・難民問題に関して、保健衛生及び治安問題への対策費用として、ウナ・サナ・カントンに対して480万KM(約240万ユーロ)の追加的な予算配分を決定。

●BH連邦政府、警察予備隊創設の中止を発表(26日)

BH連邦内務省は、RS内務省が24日に警察予備隊の創設を中止する旨発表したことを受けて、BH連邦警察への予備隊創設に関する関連法案の改正を行わない方針を発表。

イ. スルブスカ共和国(RS)

●RS政府、警察予備隊創設の中止を発表(24日)

RS内務省は、RS国民議会で審議中の警察・内務法修正法案から、警察予備隊の創設に関する条項を削除する旨発表。上級代表事務所(OHR)を始めとする国際社会は同決定を歓迎。一方で、RS内務省は同決定と併せて、RS警察の組織改編を実施し、現在の支援部隊(Support Units)を武装警察部隊(Gendarmerie)に変更する方針を新たに発表した。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●PIC政務局長会合の開催(17~18日)

和平履行評議会(PIC)はサラエボで政務局長会合を開催し、 Dayton 和平協定の履行状況等に関する協議を実施。同会合後にまとめられたコミュニケの中で、ロシアを除く参加各国は、BH閣僚評議会の発足の遅れや、RSにおける警察予備隊創設のイニシアティブ等に関して懸念を表明した。

●ライチャクOSCE議長(スロバキア外相)がBHを訪問(20日)

ライチャクOSCE議長(スロバキア外相)がBHを訪問し、コムシッチBH大統領評議会メンバー(クロアチア系)及びジャフェロビッチ同メンバー(ボシュニャク系)との間で会談を実施。ライチャク議長は、BHの初等教育における民族ごとの分断状況の解消、及び、選挙不正対策として投票システムの改善等を要請した。

●欧州評議会議員会議へのBH不参加が決

定(24日)

欧州評議会議員会議(PACE)へのBH代表団選出を予定していたBH議会上院の緊急会合は、セルビア系及びクロアチア系議員の欠席による定数不足のため成立せず。これにより、先に欧州評議会閣僚委員会がBHの今次PACE(6月24~28日開催)への参加条件として提示した6月25日午前10時までのBH代表団選出は行われず、今次PACEへのBH不参加が決定的となった。

●EUFOR司令官の交代(26日)

EUFORは、ドーファー現司令官からトリシヤク新司令官(ともにオーストリア人)への任交代式典をサラエボのプトミル基地で開催。トリシヤク新司令官は、BHの欧州統合に向けBH軍に対するEUFORの支援強化の方針を述べた。

(2) 二国間関係

●BH・ハンガリー首脳会談(18日)

ドディックBH大統領評議会議長(セルビア系)がハンガリーを訪問し、同国のオルバン首相との間で会談を実施。ドディック議長は、BHのEU加盟プロセスに対するハンガリーの支持に謝意を述べるとともに、経済分野等における両国関係の強化に関心を示した。これに対してオルバン首相は、BHの領土的一体性への支持を示すとともに、BHのEU加盟プロセスに対する今後の支援を約束した。

●BH・ベラルーシ首脳会談(20日)

ドディックBH大統領評議会議長(セルビア系)がベラルーシを訪問し、同国のルカシェンコ大統領及びルマス首相との間で会談を実施。両国首脳は、経済及び文化を始めとする各分

野における両国関係強化の方向性を確認した。

3. 経済

(1) 経済政策・公共事業

●IMF、新閣僚評議会の早期発足を要求(4日)

当地ドネブニ・リスト紙(モスタル発行のクロアチア系主要紙)は、IMF駐BH代表部の声明を報道。同報道によれば、IMFは、2020年9月を期限とするIMFの対BH支援プログラムの実施を含むBHとの今後の協力の条件として、新BH閣僚評議会の早期発足を要求している。

(2) 経済協力

●EUがBH間接税庁の研究所開設を支援(10日)

EUは、BHにおける税制度及び関税制度の改善を目的として、BH間接税庁の研究所開設に係る40万ユーロ規模の支援を実施。同研究所は、BHの関税制度のEU基準達成に向けた取り組みや、BHに輸入される外国産品に対する安全性検査等を行う。なお今回の支援は、BHに対するEU加盟前支援(IPA)の一環として行われたものである。

●BH閣僚評議会、高速道路欧州回廊5c線建設へのEBRDの支援案を承認(12日)

BH閣僚評議会は、先にBHが欧州復興・開発銀行(EBRD)との間で合意した、EBRDによる高速道路欧州回廊5c線の建設に対する1,290万ユーロ規模の資金援助案を承認し、BH大統領評議会に送付。同支援による資金は、RS内を通る6.1キロメートル区間の建設等に充てられる予定。

●EBRDが中小企業支援を開始(27日)

欧州復興・開発銀行(EBRD)は、BHの中小企業に対する2億ユーロ規模の支援プログラムを開始。EBRDは今後、同プログラムを通じて、BHの中小企業の生産能力の拡大や生産効率の改善、環境保護面におけるEU基準導入等の支援を実施する予定。

(3) 民間セクター

●高速道路欧州回廊5c線の建設事業に中国企業が参入(7日)

BH連邦高速道路公社は、高速道路欧州回廊5c線のうち、総距離11キロメートルのポチテリーズビロビッチ区間の建設に関して、中国のChina State Construction Engineering Company及びSynohydro Power Chinaの2社を施工担当業者に決定した旨表明。なお、総工費用2億KM(約1億ユーロ)にのぼる同区間の建設に対しては、欧州投資銀行が資金援助を実施する予定。